

# 宇管工 新春賀詞交歓会

## 体制充実強化で時代に対応

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）は27日、宇都宮市のホテルニューイタヤで新春賀詞交歓会を開催した。組合員や協力業者のほか、船田元衆院議員、佐藤栄一宇都宮市長、塚田浩宇都宮市上下水道事業管理者、鎌倉三郎、渡辺道仁の両市議会議員、増渕薫宇都宮建設業協会会長、佐々木宏幸県建築工事事務所協会会長ら多数の来賓も加わり総勢約150人が出席。「子年（ねどし）」を起点とした組合事業の一層の発展、繁栄を祈念した。



佐藤市長



和田理事長



鎌倉市議



船田衆院議員

和田理事長は昨年実施した全ての防災訓練を迅速かつ的確に行うことができ、新年を充実と達成感を持って迎えられたと述べた後、「改正水道法による指定更新制度など水道事業を取り巻く環境は刻々と変わっている。組合では時代や動き

に確実に対応できるように体制の充実、強化を図っていく」とあいさつ。船田衆院議員は「昨年の台風19号は県内で猛威を振るった。単純復旧では同じところが氾濫や越水する危険性がある。堤防の嵩上げや河道掘削、上流部への遊

水池設置など改良復旧が必要」とこれからの災害対応の在り方を語った。佐藤市長は「これからは宇都宮市の上下水道の老朽管渠を順次更新していかな

ければならない。宇都宮全体の公共施設の老朽化対策を考えると今後50年間で1兆円台がかかる。投資的経費をしっかりと確保し、これからの世代が苦勞しないよう今のうちにスピードアップして取り組んでいく」と述べた。鎌倉市議は「様々な課題があるが、英知を絞って宇都宮市民の水需要に対応してほしい」と祝辞。増渕会長の音頭で乾杯。



和田理事長の叙勲受章を祝い万歳三唱で閉会した

組合員と協力企業、来賓が互いに新年の幕開けを祝った。最後に渡辺市議が和田

理事長の秋の叙勲受章を祝うとともに組合発展を願い万歳三唱で閉会となった。